

◎ 年 頭 所 感

一般社団法人日本アルミニウム合金協会
会 長 山 本 隆 章

平成26年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様方並びに関係各位の皆様におかれましては、日頃より本協会の運営に際しご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、数社の同業企業が当協会の正会員としてご入会されました。当協会として新規に正会員を迎えたのは5年ぶりであり、会員一同ともども、心より歓迎するとともに、先ずはご報告申し上げます。



顧みるに、2013年の我が国経済を取り巻く状況は、新政権の掲げる経済政策への期待の高まりから、為替レートが円安方向に推移し、これに連動して株価が上昇、更には輸出や消費が増加に転じるなど経済回復とも受け止められる兆しが見えてきたところです。とりわけ夏場以降は、アルミニウム合金の主要な需要先である自動車の輸出や生産が増加に転じるなど、当業界を巡る経営環境にも回復の兆しが見えてきたところです。

こうしたなか、懸念材料としては、円安に伴うエネルギー価格の高止まり、アルミスクラップ資源の海外への流出、電力の安定供給への不安や、本年4月に導入される消費税率の引き上げに伴う消費動向への影響などが指摘されることです。

当協会としては、経済や環境対策など、施策や関連する情報の早期の収集、伝達に努めると共に、個別企業では対応が困難な諸問題に取り組んで参る所存です。

2020年の東京オリンピックの開催決定は、我が国にとって久方ぶりの明るい話題となりました。これを成功に導くためにも、本年は、我が国の産業界にとっても、当業界にとりましても、今後の経済の回復を着実に軌道に乗せるための試練の年であることは言うまでもありません。

今や地球環境保全が人類にとって必須かつ喫緊の課題となっている状況下で、重要基礎素材であるアルミニウム二次合金の供給とアルミニウムリサイクルの一翼を担う当業界の果たすべき役割と責任の重要性は揺るぎないものと確信しているところです。

本年こそ明るい話題が増えることを心より念じ、当協会としましても更なる研鑽に努める所存であります。

最後になりましたが、関係各位の一層のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げるとともに、皆様のますますのご発展とご健勝を祈念いたしまして私の年頭の挨拶とさせていただきます。